

会議録（要約）

会議名称	第3回 徳島市障害者計画及び徳島市障害福祉計画策定市民会議
開催日時	平成29年10月31日（火） 15時00分開会～16時30分閉会
開催場所	徳島市役所 8階 庁議室
委員出欠状況	19名出席、4名欠席

開会	
事務局	省略
議題2 徳島市障害者計画及び徳島市障害福祉計画の素案について	
会長	<p>それでは、第3回目の会議を始めていきたいと思います。よろしくお願いたします。本日の議題は徳島市障害者計画及び徳島市障害福祉計画の素案についてです。それでは事務局よりご説明をいただきます。</p>
事務局	資料1について事務局より説明
会長	<p>どうもありがとうございました。ただいまの事務局の説明につきまして、ご質問、あるいはご意見等ありますでしょうか。どなたでも結構です、よろしくお願いたします。</p>
A委員	<p>差別解消についてです。私は未熟児で生まれ、脳性マヒという後遺症が残りました。親から「とにかく健常者に負けない、健常者に追いつきなさい、健常者と同じようにがんばりなさい」そう言われて育ちました。私は自分なりに、そろばんや簿記の勉強をして、車の免許も取りました。それでもやっぱり健常者には勝てないんです。どうしても限度があるんです。そろばんでも、3級は取れても2級になると、左手がいるようになるんです。伝票を見てそろばんを弾く作業があるんです。それができない。専門学校に通っていた頃、先生が、「あなたは字もきれいに書けるから、がんばったらいけるよ」って言ってくださった言葉で、今まで生きてきました。</p> <p>この資料を拝見して、すごい世の中になったなと思います、本当に恵まれた時代だなと思います。私は、今、二次障害というのを抱えています。それは障害があるために、体に緊張があったり、神経がものすごく痛く、こわばるんです。お医者さんからも、「あなたはももとの障害があるから、どうにもならん」と言われます。計画の始めの部分に「リハビリ」という言葉があります。年を取って、だんだん障害が重くなって、体が硬直したときに、どのような医療機関や施設があるかさえ分らないので、もっと教えて欲しいです。</p>
会長	<p>ありがとうございます。事務局、情報提供がすぐにできますか。</p>
事務局	<p>二次障害についての医療機関のご質問だったかと思います。今すぐ、適切な機関のご紹介は難しいですが、個別にご相談いただいた時に、情報収集しながら、当事者の方への情報提供に努めてまいりたいと考えております。</p>
会長	<p>情報提供の中で、しっかり考えていくということよろしいでしょうか。それ</p>

	<p>以外に何か、ご意見はありますか。</p>
B 委員	<p>2点ほどお話しさせていただく思います。</p> <p>ひとつは、災害時の関係で50ページ以降、避難所についての部分があります。熊本地震の際には、発達障害の方が避難所においてなかなか適切な支援が受けられなかったと聞きました。</p> <p>計画についても、発達障害の方が避難所にいらっしゃるということを前提にご記入いただけたらありがたいです。例えば51ページの⑦のところに災害時障害者支援事業というのがあり、ここでは避難所のことについて触れてらっしゃいます。例えば、聴覚障害者や視覚障害者、それに発達障害の方々も対象にいただけると、コミュニケーションが苦手な方には、分かりやすい言葉を使って対応していただけたらとか、耳で聞いても理解しにくいという方には紙に書いて説明するとか、避難所におきまして、発達障害の方がいらっしゃるということも意識できるような記入をしていただけたらありがたいと思います。</p> <p>それと、この計画は発達障害について、たくさん入れていただいて、とても心強く思っています。23ページの1番に、発達障害に対する相談支援体制の強化を書きいただいています。徳島市さんだと、様々な資料等で発達障害に関する相談窓口が恐らく明記されていないと思うんです。相談窓口をはっきり明記していただいていると、相談に行きやすいのではないかと思います。</p> <p>徳島県でも、市町村のほうで、発達障害に関する相談窓口を示すのぼりを作らせていただいて、窓口に置いていただこうかと考えておりますので、置かせていただけたらというお願いでございます。以上でございます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。今、2点ありましたけれども、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>今、ご質問いただきました災害時の対策におきましては、視覚障害、聴覚障害の方用のビブスを11月1日から希望者の方に配布をする予定です。これについては視覚、聴覚の障害者の方は外見で判断しにくいということで、当事者の方からのご意見もあり、作成をしました。継続していきたいと考えております。</p> <p>また先程、発達障害の方が避難所での生活がしにくいというご発言をいただきました。東日本、また熊本地震等を踏まえて、発達障害のみならず障害者全体が避難所の中で生活しづらいということが調査結果でも出てきております。まず指定避難所での避難所運営班等に、障害特性やそれに配慮した対応等について、しっかりと情報提供をしていきたいと考えています。</p> <p>ビブスについては、視覚障害、聴覚障害の方に作成したところなので、今後さまざまな形でご意見等もいただきながら、検討していきたいと考えております。</p> <p>あと発達障害に関する取り組みですが、保健センターが実施をしている1歳6カ月健診や3歳児健診で、保護者の方の相談をお受けする中で早期療育につながる方も多いですが、発達障害者に対する相談窓口としては、まずは障害福祉課になろうかと考えます。</p> <p>ただ、徳島市についても、発達障害について、職員のノウハウが少ないところは、県の発達障がい者総合支援センターや関係機関のご協力をいただいているところなので、しっかりと連携を取り、職員の知識の向上についても努めていきな</p>

	がら、発達障害者の支援について取り組んでいきたいと考えています。
B 委員	避難所については、発達障害者の方というのは見た目には分からないので、やはり避難所のほうで発達障害の方に、災害時には掲げていただける看板のようなものなど、工夫してご用意いただけたらありがたいなと思います。
事務局	今回、ビブスに関しては、避難所での支援もありますが、避難される時に、情報が手に入りにくいことで、逃げ遅れる可能性があるため、ビブスを着用することで、避難時にも役立てていただきたいということで、今回作成した次第であります。
B 委員	いろいろと工夫していただけたらありがたいということと、のぼりの設置をよろしくお願いします。
事務局	はい。
C 委員	<p>先程のご質問の中の発達障害の早期発見、早期支援についてですが、制度的には徳島県療育等支援事業が発達障害児の療育支援という形になっていると思います。東部保健福祉圏、確か7カ所事業指定があるかと思いますが、発達障害に絞ってやっていると、私らの法人だけじゃないかと思います。</p> <p>事業費はものすごく小さいんですけど、その中で個別療育と集団療育という形でグループセッションを昨年度から始めて、相当な人数の支援をしています。県の委託事業ですから、利用者の負担もありませんし、なるべく家庭で解決して、障害児支援につながらないようにするというのもひとつの役目じゃないかなと思っています。</p> <p>ただ、必要なお子さんは、医療機関等、連携する機関がございますので、児童発達支援につなげるという部分もできますので、そういう対応は現在しています。</p> <p>ただ、徳島市との連携に関しては、保健センターのほうにご挨拶にいたりしていますが、それ以上については出来ていないため、連携を進めていきたいと思っています。</p>
会長	ご意見ということで。市のほうから何か。
事務局	県の療育等支援事業については、保育所の現場等からも要請等があるかと思っています。児童部門とも積極的に連携しながら、療育等支援事業の有効的な活用について連携を深めていきたいと考えています。
会長	その他、何か。
D 委員	これは答えはいいりませんので、お願いだけです。25 ページの上から2行目のところ、権利擁護の関係ですね。啓発、理解促進の推進という項目です。そこの2行目の、「一層の浸透に向けた市民や職員への周知」ということで、市民の皆さんへの周知というのはよく分かるんですが、職員への周知という、職員の方は指導的な立場にあるので同列に書くことに違和感があります。これはもうお答えはけっこうです。お任せいたします。
会長	その他、ありますか。ご意見、ご質問事項、何でも結構でございます。
E 委員	21 ページの相談支援事業ですが、事業所の現在の状況を見ますと、本当に事業所自体がハードワークです。委託事業の見直し再編を実施していただきたいのと、記録等の業務に関わる省力化、また委託料で適切な、十分な経営が可能な、

	<p>そういった制度設計を引き続きご検討いただいて、お願いをしたいと思っております。まずそれが1点です。</p> <p>2点目は、先程、福祉避難所のことが出ましたが51ページ、施設のほうも福祉避難所を運営しようとしています。しかし、熊本でありましたように、精神障害者の方を受け入れた場合、全くノウハウがなく、受け入れが困難だった。それと施設が倒壊をして、支援すべきスタッフの自宅も倒壊をして、なかなか施設にも行くことができず、十分福祉避難所も機能しなかったと聞きます。施設も地域と連携をして、自主的に地域と共有できる防災倉庫なんかも作るなど、工夫をしていますが、地震が来て、福祉避難所も十分機能が発揮できるかと思ったら、自信はありません。ですので、引き続きご指導をまたいただいたらと思っております。それが2点目です。</p> <p>最後に41ページの障害者の就労促進ですが、優先調達の推進について。これは既に平成25年の優先調達推進法、徳島市では全国に先駆けて、調達推進の指針をいち早く発表していただきました。おかげで国が統計を取り出した平成18年からは、徳島県の平均工賃は微増ですけれども、上がっています。今、福井県に続いて、全国第2位、2万円を記録しています。ぜひ調達の目標金額を加えていただいて、32年度まで、若干ではありますけれども、増額した内容で公表もしていただきたいと思えます。</p> <p>施設や事業所は予算がつかないと、イベント等を実施することが難しいのですが、この②に書いてありますように、対面販売、各種イベント等、県の公共機関を利用させていただいて、利用者が対面販売の場として活用しています。既に大きな実績もあるので、工賃に反映をしております。徳島市のB型事業所もがんばっておりますので、引き続き優先調達法に基づいた物品等の供給ですね。仕事の発注をお願いできたらと思っております。以上3点です。</p>
会長	事務局のほうで、3点、お答えできるところだけでけっこうです。
事務局	<p>1点目は相談支援事業のことで、現行では徳島市の事業主体で、昨年28年10月にそれまで3カ所だったのを1カ所追加させていただいて4カ所体制にしたところです。しかし、E委員がおっしゃる通り、4カ所になって、支援員が楽になったのかと言えば、ケースが増えているなかで、徳島市としても危惧は感じているところです。それぞれの事業所としっかりと連携をしながら、より一層相談支援体制が充実できるように取り組んでいきたいと考えているところでございます。</p> <p>2点目に福祉避難所については市が21カ所、定員として1,155名の福祉避難所を設置させていただいて、そのうち4カ所が障害者施設という形で指定をさせていただいております。E委員のおっしゃる通り、どうしても身体障害者施設や介護施設となるため、精神障害者に対する支援ノウハウなどが少なく、対応しきれないところがあると感じています。精神障害者の方にも対応できるような事業所、福祉避難所の拡充についても、関係機関と連携を図りながら取り組んでいきたいと思えます。</p> <p>また指定している福祉避難所の連携については、現在、徳島市で福祉避難所のマニュアルをまとめる作業をしております、それができた段階で、現在指定を</p>

	<p>結ばさせていただいている事業所の管理者の方に集まっただいて、またご説明をし、意見交換をしながら進めていきたいと考えているところです。</p> <p>また、優先調達の部分についても、25年に優先調達法が施行されてから、徳島市としても毎年調達方針を策定して取り組んでいるところでございます。これについては、先程、目標として32年度の金額等の話がありましたが、現状は当年度の徳島市役所全体の実績を見据えた上で、翌年度の目標を設定するというので、平成25年度、徳島市については319万ぐらいの優先調達、障害者の支援施設からの調達でしたが、28年実績で462万という形で、3年余りで1.5倍増えました。今後は、市役所全体の予算の関係もあるので、前年から徐々に上げていくという取り組みで、役所としてこんな品物が欲しい、事業所としてこんなのが提供できるというような情報マッチングにも取り組んでいきたいと考えております。</p> <p>いずれにしても、障害者の就労支援という中では、やはりA型、B型、就労移行支援、それぞれ事業として非常に重要な事業でありますので、しっかりと取り組んでいきたいと考えています。</p>
会長	よろしいですか。その他、何か、ご意見、ご質問等。
F委員	<p>83ページと84ページに就労継続支援A型、B型ということで進捗率が掲載されています。A型はすごく伸びて、B型がゆるやか伸びで設定しますが、どこかで逆転するのではないかと感じています。利用者数が目標値のように増えれば非常にありがたいなとは思いますが、現実的には難しいのではないかなというように思いました。</p> <p>自立支援法が施行されたときは、地域活動支援センターから就労継続B型に移行したほうがいいんじゃないとか、地域共同作業所で10人集めて、地域活動支援センターにステップアップしていくというような方向や意味合いはあったらと思うんです。しかし、もうそういう状況ではなくて。どんどん成長分野で事業を行うことは、現時点では難しいんじゃないかなと危惧しています。</p> <p>そういう意味では、何か地方都市で、ハンデを持たれている方が家から通えるところに通って作業をして、お金をきちんと稼げる人は稼ぎ、そしてお年寄りになったら、そこでうまくこの徳島市に住んで良かったなというような仕組みなどを掲げていけるといいなと思いました。</p>
会長	ご意見ということでよろしいでしょうか。
F委員	はい、そうです。
会長	<p>1つだけ、お願いといいますか。先程、事務局のほうからご説明があったんですけども、103ページの基幹相談支援センターの設置について、平成30～32年度にかけて実施の有無は「無」ということでご説明がありましたが、実際は検討していくということだったので、「無」というのが少し目立ってしまうというところもおかしいんですけども、その記載があるほうがいいと思います。また記載の時によろしくお願ひします。</p> <p>そうしましたら、他にご意見も無いようですので、本日の策定審議会はこれで終了します。</p> <p>最後の次回開会予定について事務局からお願いします。</p>

閉会	
事務局	<p>本日ご協議いただきました計画素案につきましては、12月議会に報告するとともに、12月下旬から1カ月程度、パブリックコメントの実施を予定しています。次回、最終開催となる第4回の市民会議におきまして、最終案を提示させていただく予定です。</p> <p>開催は1月下旬を予定しておりますが、詳細については改めて連絡をさせていただきます。よろしくお願いいたします。事務局からは以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございます。そうでしたら、本日は各委員から貴重なご意見をいただきました。本当にありがとうございました。それではこれもちまして、閉会といたします。ありがとうございました。</p>